

こだま



金沢大学附属図書館報 “こだま”

<http://library.kanazawa-u.ac.jp/>

第187号
2015. 7

ISSN 0915-8782

CONTENTS

ビブリオバトルのすすめ	1
図書館向けデジタル化資料送信サービスのご案内	4
金大生のための読書案内	5
KULic-α活動報告／とぼろニュース	6
金沢大学附属図書館×謎解き 答え合わせ	7
図書館トピックス	8



ビブリオバトル のすすめ

平成25年5月、中央図書館で初めてビブリオバトルを開催してから今年で3年目になります。平成27年6月までに14回開催し、紹介された本は53冊にもなります。平成27年1月には、平成26年度に紹介された本を全点展示したミニ展示「2014年度ビブリオバトルで戦った本たち」を紹介者のPOP付きで開催して大好評でした。

今号では、ビブリオバトルの楽しさをより多くの人たちに知ってもらうために「ビブリオバトルのすすめ」と題して、これまでの取り組みを振り返ります。



ビブリオバトルに参加してみよう

◆毎回MC(司会)を担当している久保田先生に「ビブリオバトルの楽しさ」について熱く語っていただきました。

大学教育開発・支援センター特任助教
久保田進一



図書館で月1回、ビブリオバトルってやっているんだけど、皆さん、ご存知でしょうか？ビブリオバトルというのは、自分が読んで気に入った本を持ってきてもらって、5分間、みんなの前でその本を紹介してもらい、その後3分間の質疑応答をして、本の紹介を競い合うものです。本を紹介する人を**バトラー**と呼びます。紹介する際には、パワポも原稿もなしという状態でやってもらい、唯一持ってきてもらうのは紹介する本だけなのです。あとは自分のトークで、5分間、聴衆を引きつけて聞かせるのです。そういう状態で本を紹介してもらいます。それで、一人目のバトラーが終わり、次のバトラーも同じようにやってもらいます。最後に、どの人の本が読みたいのかをみんなで投票して、**チャンプ本**を決めます。

ビブリオバトルをやると、どんないいことがあるのかっていうと、いろいろあります。例えば、人前で話すので、**プレゼン**の練習になります。**度胸**もつきます。瞬時の質問にも答えられるようになります。当然、本を読む習慣がつきます。聞く側でも、質問をする力が身につきます。自分の知らないジャンルの本を知ることができます。普段、本を読まない人には本の楽しさがわかってもらえると思います。普段から本を読む人は、自分の知らない本を知ることができ、刺激になります。人前で話すのが苦手な人には、いい練習の場だと思います。要するに、**ビブリオバトルにはいいことしかない**ような気がします。

この2年間、ビブリオバトルをやってみて、いろいろな学生が本を紹介してくれました。結構、1回やってみると病み付きになってしまい、何回も出場する学生もいました。人社系の学生も読んでいるのかもしれませんが、意外と理工系の学生が本を読んでいるなと思いました。紹介される本は、小説が多いような気がしました。私自身、最近は小説を読む機会がなくなってきたので、改めて小説の面白さに気づかされました。また、映画化やドラマ化された小説も紹介されていたので、本だけではなく、映画やドラマも改めて見ようと思ひ、レンタルビデオ店に行った時もありました。

これから**ビブリオバトル**が、もっと浸透していったって、いろんな人が参加してくれるといいかな～と思います。そして、本の世界をもっと広げてもらいたいなと思います。でも、これは理想ですね。その前には本を読むということが前提なのですが、**今年の3月に出た金大生の読書週間の調査では、1日平均の読書時間(電子書籍含む)について問うと、「0分」と回答した学生は全体の53.1%という結果**でした。これは読書習慣のない学生が半分以上いるということです。このことは、本の読み方を知らない人たちが増えてくるということです。情報を得ることと読書は異なるのですが、このままですと情報はあっても、思考ができない人が増えそうです。非常に危機感を覚えますね。**ビブリオバトル**に関してですが、まだまだ前途多難です。もっと本を読む人が増えたら、図書館の職員の人には負担がかかるかもしれませんが、月2回ぐらいやってもいいのかな？とも思います。

ビブリオバトルのルールは？

1. 発表者が自分で読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に1人5分間のプレゼン(トークのみ)をする。
3. 紹介された本について、参加者全員で3分間ディスカッションをする。
4. 参加者全員で「一番読みたくなった本」に投票し、チャンプ本を決める。



バトラー
経験者の
声

私は元々プレゼン力が皆無で、発表でうまく自分の考えを伝えることが出来ませんでした。出場することによりプレゼン力が以前より増えました。その点でビブリオバトルは発表能力を高める良いイベントだと思います。【第13回チャンプ本獲得者(電子情報学類情報システムコース2年)】

■図書館ビブリオバトル出場本一覧

図書館ビブリオバトルは、大学間連携共同教育推進事業『学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築』の一環として、中央図書館ブックラウンジで開催しています。

年度	実施日	回	チャンプ本	参 加 本
平成 25 年度	5月29日	第1回	光の塔（今日泊亜蘭著）※	電車男（中野独人著）、謎解きはディナーのあとで（東川篤哉著）
	6月19日	第2回	星の王子さま（サン＝テグジュペリ著）	非選抜アイドル（仲谷明香著）、深愛（水樹奈々著）
	7月17日	第3回	凍りのくじら（辻村深月著）	あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。（岡田麿里著）、いつやるか？今でしょ！（林修著）、工学部・水柿助教授の日常（森博嗣著）
	10月23日	第4回	キケン（有川浩著）	コンダクター（神永学著）、図書館戦争（有川浩著）、外国語の水曜日（黒田龍之助著）※
	11月20日	第5回	死にぞこないの青（乙一著）	犬が星見た：ロシア旅行（武田百合子著）※
	12月18日	第6回	下流志向（内田樹著）	かのこちゃんとマドレーヌ夫人（万城目学著）、Love letters: 偉人たちのラブレター（ウルスラ・ドイル編）、思考の整理学（外山滋比古著）、syunkonカフェごはん2（山本ゆり著）
平成 26 年度	5月28日	第7回	モレルの発明（アドルフォ・ビオイ＝カサーレス著）	アーロン収容所（会田雄次著）、鼻（芥川龍之介著）、ロング・ロング・アゴー（重松清著）※
	6月18日	第8回	文人悪食（嵐山光三郎著）	第二阿房列車（内田百聞著）、下流の宴（林真理子著）、台所から北京が見える（長澤信子著）、世界が認めたニッポンの居眠り（ブリギッテ・シテガ著）
	7月23日	第9回	私を知らないで（白河三兎著）	星のかけら（重松清著）、太陽の子（灰谷健次郎著）、有頂天家族（森見登美彦著）、椰子・椰子（川上弘美著）
	10月22日	第10回	すらすら読める風姿花伝（林望著）※	ジョバンニの島（杉田成道著）
	11月19日	第11回	図解いきなり絵がうまくなる本（中山繁信著）	前へ！：東日本大震災と戦った無名戦士たちの記録（麻生幾著）、差別とハンセン病（畑谷史代著）、海辺の王国（ロバート・ウェストール作）※
	12月17日	第12回	ねにもつタイプ（岸本佐知子著）※	奇跡のリンゴ（石川拓治著）、らせん（鈴木光司著）、Q & Aで読む日本軍事入門（前田哲男、飯島滋明編）
平成 27 年度	5月27日	第13回	元素生活（寄藤文平著）	アルジャーノンに花束を（ダニエル・キイス著）、坂口安吾（坂口安吾著）、わが百味真髓（壇一雄著）
	6月24日	第14回	潜水服は蝶の夢を見る（ジャン＝ドミニック・ボービー著）	ドナルド・ダックの世界像（小野耕世著）、インシテミル（米澤穂信著）、女子のキャリア（海老原嗣生著）

※印は、職員が紹介した本です。



バトラー
経験者の
声

ビブリオバトルの、「レジュメやプレゼン資料を用いない」というルールが新鮮でした。授業等では発表資料を用意することがほとんどですが、ビブリオバトルではそれが無い分、観戦者はバトラー自身の発する、言葉や表情といった情報によく注目していたように思います。そのため、発表していて聞き手の反応を肌で感じることができ、緊張感のある充実した発表ができました。【第7回出場者（職員）】

★『図書館ビブリオバトル』に出場してみたい方は、中央図書館係 中本 (etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp) までご連絡ください。

図書館向けデジタル化資料送信サービスのご案内

附属図書館では国立国会図書館の承認を受け、昨年9月から「デジタル化資料送信サービス」を開始しています。

「デジタル化資料送信サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、承認を受けた図書館内で閲覧と複写が可能となるサービスです。国立国会図書館デジタルコレクション収録資料のうち「国立国会図書館／図書館送信限定」マークのある資料がご利用いただけます。平成27年1月現在、図書、雑誌、博士論文等、約138万点が利用可能です。



利用対象者：

学内者（金沢大学に在籍する学生、教職員、名誉教授）

利用可能時間：

平日開館日の9:00～17:00

※複写受付は16:00まで

利用場所：

中央図書館、自然科学系図書館、医学図書館 各サービスカウンターにある専用端末

利用手順

- ①カウンターで利用券（学生証、職員証等）を提出してください。
- ②職員がログインの操作をします。
※必ず来館していただく必要があります。

複写について

複写料金(私費)：モノクロ20円/枚、カラー80円/枚

- ・著作権法の範囲内で可能です。
- ・複写作業は職員が行います。

収録資料はネットで確認出来ます。

ご自身の端末で検索してみてください。

※本文の閲覧は専用端末でのみ可能です。

アドレス：<http://dl.ndl.go.jp/>

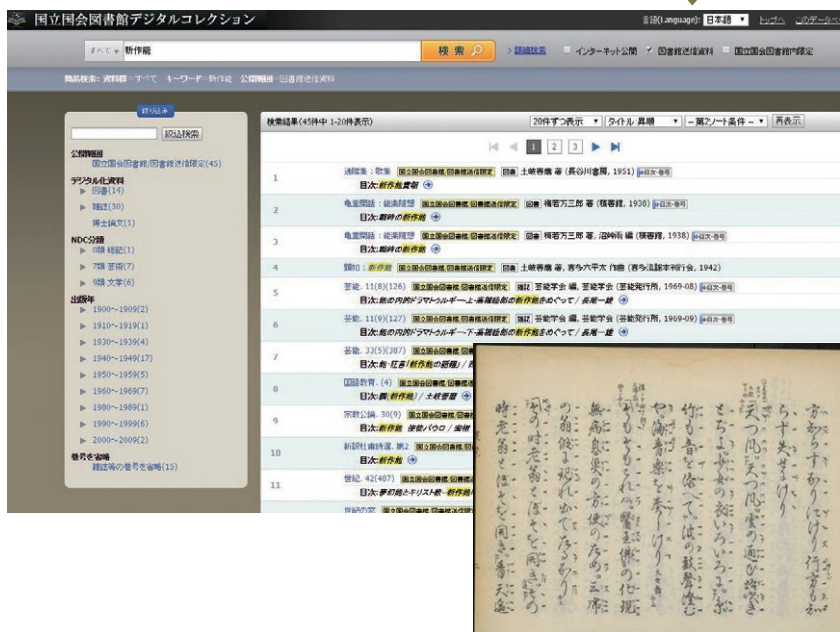
お問い合わせ先：

相互利用係（076-264-5212）

詳細：

http://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=205

キーワード「新作能」で検索した結果画面



(画像例)

※画像は「国立国会図書館デジタルコレクション」から転載※

実際の閲覧、複写は図書館の専用端末でのみ許可されています。

■送信対象資料

国立国会図書館デジタルコレクション(<http://dl.ndl.go.jp/>)で公開範囲が「国立国会図書館／図書館送信限定」となっている資料です。国立国会図書館の案内ページ (http://dl.ndl.go.jp/ja/about_soshin.html) でもご確認ください。

金大生のための読書案内－教員から学生へ



古畑 徹 先生

(人間社会研究域歴史言語文化学系 教授／附属図書館長)

「感性を磨く昭和の名作文庫，
視野を広げる平成の秀作新書」

平成27年5月20日～ 中央図書館で展示中



第18回

教員から教員へ、リレー形式で続いている教員おすすめ図書コーナーは、今回で第18回を迎えました。今回バトンを受け取ってくださったのは人間社会研究域歴史言語文化学系の古畑徹先生です。

文 庫

今はあまり読まれていないことと、文体を重視して選んでみました。ライトノベルもいいけれど、「硬質な」文章にもぜひ一度触れてほしいと思います。

<文 庫>

	書名、著者・出版事項
1	安土往還記 辻邦生著、新潮社、2005.11
2	樫ノ木は残った 山本周五郎著、新潮社、2003.2
3	幽霊 或る幼年と青春の物語 北杜夫著、新潮社、2014.2
4	風濤 井上靖著、新潮社、2009.1
5	江分利満氏の優雅な生活 山口瞳著、新潮社、1989.4
6	樺山節考 深沢七郎著、新潮社、1987.11

新 書

1990年代初頭の新たな知の世界を平易に伝え、今もその価値を失わない古典的新書を選んでみました。今回選んだ文庫より読みやすいかも。

<新 書>

	書名、著者・出版事項
7	在日外国人 法の壁、心の溝 田中宏著、岩波書店、2013.5
8	民族という名の宗教 人をまとめる原理・排除する原理 なだいなだ著、岩波書店、1992.1
9	博覧会の政治学・まなざしの近代 吉見俊哉著、中央公論社、1992.9
10	メッカ イスラームの都市社会 後藤明著、中央公論社、1991.3
11	「成田」とは何か 戦後日本の悲劇 宇沢弘文著、岩波書店、1992.2
12	動物裁判 西欧中世・正義のコスモス 池上俊一著、講談社、1990.9

おすすめ図書紹介文の全文は、展示コーナーの他に、図書館Webサイトの次のページでもご覧いただけます。

http://library.kanazawa-u.ac.jp/index.php?page_id=245

●第16回「哲学者による随筆集（人間社会研究域学校教育系）山本英輔先生」は自然科学系図書館で展示中です。

●第17回「ドナルド・キーン先生からの贈り物（人間社会研究域経済学経営学系）寒河江雅彦先生」は医学図書館で展示中です。

「日・EUフレンドシップウィークイベント」を開催

中央図書館内のEU情報センターでは、5月9日の“ヨーロッパ・デー”にあわせ、資料展とカフェイベントを開催しました。

5月8日～28日、資料展「EUについて基礎から学ぼう！」を開催しました。サービスカウンター前の吹き抜けに加盟各国の国旗が翻る中、各国を紹介したパネルや関連図書などを展示し、学生が足を止めて熱心にパネルに見入ったり、図書を借りたりしていました。

また、5月21日には、カフェイベントのEU Café2015「大学生なら知っておきたいEU経済の今」を開催。今回はWebサイトを通じてEUに関する質問を本学学生から事前募集し、佐藤秀樹准教授（人間社会学域経済学経営学系）がそれに答えるという形式で行い、学生に司会進行を務めてもらいました。64名の参加があり、用意していた座席が足りなくなるほど大盛況でした。



中央図書館

KULiC-α 活動報告

2015年4月～7月

ブックラウンジでの活動

ブックラウンジでのイベント

- 5月27日, 6月24日, 7月22日
ビブリオバトル ※p.1-3もご覧ください
- 6月29日, 30日, 7月1日
レポート作成基礎講座



ギャラリーαでの展示

- 4月10日～4月20日 進級展 (学校教育学類美術教育専攻)
- 4月21日～5月1日 四月展 (美術部)
- 6月1日～6月30日 展覧会ポスター展「展示の歩み2012年～2014年」(資料館)
- 6月22日～6月30日 展示実習「思い出の品」(文化遺産学実習)
- 7月6日～7月31日 写真展「Beauty in Science, Technology and Engineering」(男女共同参画キャリアデザインラボトリ)



図書館学生ボランティア とぼらニュース

とぼら選書ツアー 「ほん和か文庫」に置く本を選んできました！

6月7日(日), 百万石まつりの最終日に選書ツアーを行いました。

このツアーは, 附属図書館の学生ボランティア「とぼら」のメンバーが金沢市内の書店に行って, 実際に本を手にとって, 皆に読んでもらいたい本を学生の視点から選ぶものです。この日は, あいにくサークル活動などで参加できないメンバーが多かったため, 女性メンバー2人で頑張ることになりました。

この日選ばれた本は, 6月25日にブックラウンジの「ほん和か文庫」に入りました。「ほん和かふえ。」のコーヒーを飲みながら, ぜひどうぞ。



自然科学系図書館



医学図書館

「ほん和か文庫」 in 自然科学系図書館&医学図書館

自然科学系図書館にも「ほん和か文庫」があるのはご存知ですか? 新聞コーナーの手前に置いてあります。今回の選書ツアーに合わせて入れ替えました!

医学図書館のブックラウンジにも新たに「ほん和か文庫」を設置しました!

気軽に読める本を置いてありますので, 勉強の息抜きに, ぜひ手にとってみてください。

こだま第186号企画

中央図書館を探索せよ!

金沢大学附属図書館 × 謎解き

前号の新生生特集号で、図書館を巡って謎解きをするクイズを出題しました(応募総数48名、正解41名)。少し難しかったでしょうか? それでは、答え合わせをしていきましょう。

答え合わせ

① 証言の誤りを見つけよう!

証言1

インフォスクエアでレポートを書いていた。WordやExcelが使って便利ですね。でもせっかく書いたレポートを印刷できないのは不便すぎます!



鶴間さん

ここが誤り!

× アカンサス印刷プリンタで印刷ができます!

証言3

夕方、書庫にいました。入庫票ですか?ちゃんと受け取って自分の荷物と一緒に持って書庫に入りましたよ。



平和さん

ここが誤り!

× 荷物を持って書庫に入ることはできません。貴重品以外はロッカーに預けてください。

証言4

ブックラウンジでコーヒーを飲みながら、カップ麺を食べてました。



角間くん

ここが誤り!

× アルコール・カップ麺・お弁当等、臭いや汁気が多い食べ物は禁止です。

証言2

○ 正しい証言

学習支援相談所で相談した後、本を読んだりしてずっと図書館にいました。ここに来るだけでなく、メールで相談する事も出来るから助かります。



宝くん

証言5

オープンスタジオでお菓子を食べながら、友達と一緒に課題をやっていました。



兼六さん

ここが誤り!

× 食べ物は食べられません。蓋付きの飲み物はOKです。

② ヒントを頼りに教授を探そう!

ヒント1

正解したあなたは、学習支援相談所で宝くんから【平仮名とカタカナ5文字の組み合わせ】を【A-Z】に変換するための対応表を手に入れた。この表にしたがって、教授の残したメモを解読すると・・・

【教授の残したメモ】

文字に意味はなく、平仮名とカタカナの組み合わせに意味がある。

ヨミタシト = s あつメシフ = h
ミラのちに = i または j クるひとに = r
ノコシテヤ = y すクヨをサ = o
るコウソウ = k ぶんこあけ = a
ガラスはヤ = n

対応表

a = ああああ	g = ああアア	n = あアああ	t = アああア
b = あああア	h = あアアア	o = あアアア	u-v = アああア
c = あああア	i-j = アあああ	p = アアアア	w = アアアア
d = あああア	k = アアアア	q = アアアア	x = アアアア
e = あアアア	l = アアアア	r = アアアア	y = アアアア
f = あアアア	m = アアアア	s = アアアア	z = アアアア

shiryokan = 資料館

ヒント2

ヒント1でわからない人は、証言者1～5がいた場所へ行き、ヒントが書かれたポスターを見るといい。そのヒントを教授が各ポイントにいた時系列順に並べるとある本の名前になる。その本をOPAC plusで検索し、所在を確認しよう。教授は本の所在と同じ場所にいる。

ヒントを時系列順に並べると、『小中屋文書』となる。
『小中屋文書』をOPAC plusで検索すると図書とマイクロ資料がヒットする。
今回は、本の所在に教授がいるので図書の所在を確認!
資料館に所蔵されていることがわかった。

午前中 お昼 お昼過ぎ 午後2時頃 夕方
小 中 屋 文 書

ヒント1とヒント2を踏まえて考えると

正解

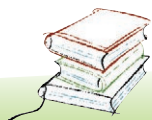
教授は『資料館』にいる!!

Bonus Chance!! キーワードについて

医学図書館のポスターには「KU」、自然科学系図書館のポスターには「R」、保健学類図書室のポスターには「A」のBonus Chance!! キーワードが書かれていました。この3つをつなげると「KURA」になります。

KURAは金沢大学学術情報リポジトリ(<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/>)のことです。

KURAでは、金沢大学の先生が書かれた論文などを電子的に保存・公開しています。ぜひご利用ください!



図書館

トピックス

4/21-22 留学生向け図書館利用説明会を開催

4月入学の留学生を対象に、4月21日に自然科学系図書館で、22日に中央図書館で、留学生向け図書館利用説明会を開催しました。



館内ツアーのあと、図書館オンラインサービスについて、英語で説明しました。

4/30, 5/1 第9回ブックリユース市

中央

第9回となったブックリユース市を4月29日、5月1日の両日に中央図書館入口のピロティで開催しました。開始時間には既に長蛇の列ができ、このイベントへの期待の大きさがうかがえました。



各日とも12時半、13時半、14時半の3回にわけて図書を出品しました。2日間を通し、2,000冊のうち、1,600冊が新しい持ち主の元で活用されることになりました。

大学・社会生活論，情報処理基礎

新入生を対象とした共通教育科目「大学・社会生活論(4月9日～5月1日)」で1コマ、「情報処理基礎(5月11日～28日)」で1～2コマ、図書館職員による授業を行いました。授業では、3月に完成したばかりの



OPAC plusの利用方法を解説した動画を使用し、図書館の基本的な利用方法や資料の探し方、データベースの検索方法の説明と実習を行いました。

文献検索講習会などを開催

中央



図書館では、図書館職員や外部講師による利用説明会や講習会を随時開催しています。ゼミ、学類、授業単位で、内容を相談しながらきめ細かなサポートを行っています。希望される方は中央図書館係までご連絡ください。

資料展示

中央図書館

- 新入生歓迎展示
「館長が選んだおすすめ本」(4/6～5/1)
- EU資料展
「EUを基礎から学んでみよう！」(5/8～5/28)
- 企画展示「〇〇力」(6/15～7/12)
- ミニ展示「追悼高橋治さん」(6/17～7/12)



自然科学系図書館

- 企画展示「仕組みを覗く」(4/7～5/9)
- 資料館アウトリーチ展「＜植物図「館」＞」(6/3～6/30)
- 企画展示「氷の世界」(7/6～8/21)

編集後記

4月発行の新入生特集号の謎解きパズルは、少し難しかったようです。解答とともに寄せられた意見には、2年生以上の方からも「知らないことがたくさんあった」「いつもは使わない他キャンパスの図書館に行ってみようと思った」といった内容のものが目立ちました。こだまをチェックして、図書館をどんどん使っていきましょう。

広報委員会メンバー

橋 洋平 松田真樹 瀧口玲子 川井奏美
作田真由美 新家左希子 多田千紘 守本 瞬

金沢大学附属図書館報「こだま」第187号

平成27年7月31日発行 発行：金沢大学附属図書館
編集：広報委員会 印刷：株式会社 橋本確文堂
〒920-1192 金沢市角間町 TEL：076-264-5200
E-mail：etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp

*この印刷物は再生紙を利用しています。